**芥川**

* **次の空欄を文章中の語句で補え。**

〔　プロセス　〕

年を経てよばひわたりけるを、

　　　　　からうじて〔　　　　　　　〕て、

男

女

◎芥川という川のほとりに連れて行く。

芥川のほとり

…草に置いた露を、「あれは、何？」と問う。

女

・道のりは遠く、夜も更けた

〔　　　　　〕多く、〔　　　〕も更けにければ、

・雷までたいへんひどく鳴り、雨も激しく降った

〔　　　〕さへいといみじう鳴り、雨もいたう降りければ、

◎荒れ果てた蔵に女を押し入れて泊まる。

〔　　　〕ある所とも知らで、

〔　　　　　〕蔵に、女をば奥に押し入れて、

一口で食う

鬼

蔵

【深夜】荒れ果てた蔵

◎雷の音で、女の悲鳴も聞こえない

弓・胡籙を負ひて戸口にをり。

「はや〔　　　〕も明けなむ」

と思ひつつゐたりけるに、

男

（戸口）

女

【夜明け】蔵

　白玉か何ぞと人の問ひし時〔 　 〕と答へて〔　　　　〕なましものを

女がいない。じだんだを踏んで泣くが、どうしようもない。

足ずりをして泣けども〔　　　　　　　　〕。

男